

はちまんたい議会だより

キカイのひろは

No. **47**
2017年(平成29年)
5月11日



新入生28人 新たな船出

— 西根第一中学校 —

主な内容

- 29年度予算…………… P 2
- 3月定例会…………… P 6
- 会派代表質問・一般質問…… P 8

A Q A Q A Q A Q A Q A Q

ふるさと納税の取り組みで、市直営ではなく、代行業へ委託した理由を伺う。

直営では、事務量的に負担が大きい点と市内の多くの方の参加や、就労の場の提供など全てコントロール、マネジメントしてもらうために検討し、委託とした。

コミュニティバス運行事業で、田山地区のデマンド化の試験運行内容を伺う。

利用前日までに予約してもらい、玄関先まで迎えに行くなど試験運行を半年間行い、運行の在り方を検討するものである。

地区内幹線交通運行補助金について、どこからどこまで運行するのか伺う。

花輪線の休止になった便の時間に合わせ、バスによる田山から西根まで、試験運行を考えているものである。

家庭的保育の設置についての目標をどう考えているのか。

運営がしっかり成り立ち、長く経営し、運営してもらえないような思いで進めたい。

綿帽子温泉館に、毎年大きな修繕費が付くが、指定管理者の負担はないのか。

費用対効果を見極め、指定管理者と協議しながら検討したい。

要支援の訪問、通所介護を市が実施することについて、制度改正になった理由は、各地域の実情に応じた社会資源、ボランティアの活用や、要支援者の多様なニーズ

予算特別委員会での主な質疑

29年度
予算

一般会計予算額は
196億2,500万円

— 前年度比7億6000万円(3.7%)減 —

平成29年度各会計別の予算総額(1万円未満四捨五入)			
一般会計		196億2,500万円	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)		39億7,222万円
	後期高齢者医療		2億5,681万円
	国民健康保険(診療施設勘定)		2億8,764万円
	公共下水道事業		5億8,626万円
	農業集落排水事業		6億4,389万円
	浄化槽事業		7,998万円
企業会計	水道事業	収益的収入	6億2,487万円
		収益的支出	6億1,709万円
		資本的収入	2億7,247万円
		資本的支出	4億8,655万円
	西根病院事業	収益的収入	8億5,573万円
		収益的支出	8億7,647万円
		資本的収入	1億2,998万円
		資本的支出	1億4,080万円

平成29年度の予算は、3月10・13・14・16・17日の5日間、予算特別委員会を開き、審査しました。同委員会では一般会計と6特別会計、2企業会計を原案のとおり可決すべきものと決定。第1回定例会最終日の3月22日本会議で全て原案のとおり可決され、29年度の税金の使い道が決まりました。ここでは、予算特別委員会での質疑や29年度の主な事業などを紹介します。

A Q A Q A Q A Q A Q A Q

ズに合ったサービスを提供していくために移行していくのではと考えている。

七時雨温泉の老人憩の家と同じ位置付けの施設を、3地区に設置し、平等に利用できるようにするべきでは。

3地区同一の施設を設置する条例が必要と考えている。来年4月から実施できるように進めていきたい。

医師、看護師養成事業で将来に向け、何人くらい養成していくつもりなのか。

予算上は、2人を見込み、当面は医師養成で、2人の枠に応募してほしい。

市ブランド牛地域一貫生産奨励事業の内容を伺う。

現在、肥育農家の元牛の値段が高く、市内産の子牛導入に対して、市、農協で1頭当たり2万5千円ずつ補助し、飼育農家が頑張れるよう取り組みものである。

市単独の農の大地担い手育成支援事業と、国の産地パワーアップ事業との関係は。国や県の補助にのれない頑張っている担い手農家の機械購入などに支援するものであり、補助率は25%とするものである。

安代リンドウ品種海外活用事業での、海外戦略の取り組み内容を伺う。

海外で活用することで、生産者の技術の向上、品種の改良、ロイヤリティ回収など、市と生産者が戦略の共有を目指すものとするものである。



農業用トラクター

みのり
農の大地担い手
育成支援事業

【予算額】2,500万円

【事業内容】 地域農業を支える意欲ある担い手の育成、確保のため、農業用機械などの導入に対して支援



八幡平市清掃センター

ごみ焼却施設
基幹的設備事業

【予算額】1億3,903万円

【事業内容】 稼働後、約20年を経過したごみ焼却施設の延命化のため、機械設備の更新や施設の改修などを実施



八幡平温泉館森の湯

温泉入浴券助成事業

【予算額】1,148万円

【事業内容】 市内の60歳以上の方に、1枚につき400円助成で一冊24枚綴り、年度内に1人に一冊交付する事業



保育給食風景

私立保育所整備事業

【予算額】1億6,533万円

【事業内容】 定員が増える私立保育園の改修などに対して支援し、保育環境の整備を進め、待機児童の解消を推進



西根総合支所

庁舎管理
(西根総合支所改修) 事業

【予算額】1億584万円

【事業内容】 昭和62年度に整備した西根総合支所の屋根、高圧受電設備などの改修や浄化槽用放流管の撤去を実施



会派視察研修

政務調査活動事業

【予算額】528万円

【事業内容】 議員の調査研究や、その他の政務活動に活用するため、1人当たり年間24万円の政務活動費を交付

予算特別委員会での主な質疑

Q ラグビートップリーグチームの合宿
招聘事業の内容を伺う。

A 6月6日から5日間、日本選手権で準優勝したパソニックワイルドナイツというチームを招聘する。

Q 八幡平温泉郷の引湯管整備に、国の助成事業を目指してきたが、実現できなかったのはどうしてか。

A 引湯管整備は、14億8千万円を予定している。国の補助支援を得るのは、高いハードルがあり厳しい。今後、過疎対策事業債をえるように努力していく。

Q 焼走りキャンプ場の古い管理事務所の解体工事で実施設計委託費とあるが、委託でなく自前でできないのか。

A 経費削減やスピードアップのためにも、工事手法を、今後見直していく。

Q 市道中田野駄森線の工事が、途中で中断し、路線に掛かっている住民から、いつになるか問い合わせがあるが見込みは。

A 野駄田圃の基盤整備が採択されるかどうかにかかっている。採択されれば、庁舎につながる路線も考えなければならぬので、若干の猶予をもらいたい。

Q 市道の軽舗装予算が例年と変わらない、2千万円が計上されている。この予算で

は、市民の要望に応えるものになっていないのでは。

A 50数路線の要望があることは、承知している。増額したい気持ちはあるが、全体のバランスを優先した予算である。9月の補正で増額を考えたい。

Q 田山スマートインターチェンジの設置を、関係機関に強く要請してもらいたい。

A 田山地域だけの利用でなく、もっと広域的に波及効果があることを示していくことが、国を動かすことにつながる。

Q 防災行政無線を、多額の予算を掛けてアナログからデジタルに変える。この無線の最大の問題は、多くの地域で聞き取りにくいということだが、改善するのか。

A デジタル化の理由は、アナログ電波は国の方針で、平成34年11月末で利用できなくなることである。今までより、聞き取りやすくなると思われ、デジタル化で携帯電話へのメール配信などの連携事業も計画している。

Q 市内の中学校で、不登校になっている人数と、その中でいじめによつての不登校の生徒がいるのか伺う。

A 市内の中学校で、30日以上2カ月まで休んでいる生徒は、13人になっている。いじめによる不登校の生徒は、いないと把握している。

討論（一般会計・3月22日本会議）

【反対討論】 伊藤一彦議員（緑松会）

田山スキー場用地を7200万円で購入する案件に反対する。現在の賃貸料160万円の45年分に匹敵する。今まで5300万円が支払い済みである。27年度の決算を見れば、収入119万円に対し、支出2930万円の毎年赤字経営で成り立っている。また、県の補助で圧雪車2台を7340万円で更新した。用地活用には、ノルディックの国際公認コース、ファミリールコースグレンデを造成するというが、造成関連経費の提示がない。28年度の最新版の基本

【賛成討論】 立花安文議員（八起会）

歳入においては、地方交付税を82億円、市税などの自主財源を50億円計上し、住民福祉に必要な財源が確保されている。

歳出においては、子育て支援として出産祝金を第2子から支給し、インフルエンザ予防接種助成を中学生まで拡大した。

【反対討論】 米田定男議員（日本共産党）

予算に対する賛否は、その主要な部分に対する判断である。

就学援助受給者に対する入学準備金の早期支給、通学定期購入に対する補助率の引き上げなどについては評価する。しかし、今予算の焦点は、田山スキー場用地取得問題であり、大更駅周辺整備事業である。この2つに共通するのは、「公共施設の供給量の

計画にも記載がない。県からの管理委託を受けているのに、県にも折衝がなく突如出てきた案件である。近況のスキー場の状況を踏まえると、財政的にも現在の賃貸での運営が最少の赤字で済む。取得すべき事業なのか、近隣のスキー場などの広域開催を視野に入れるなど、最悪は撤退を踏まえた柔軟な体制が必要である。今後のスキー競技人口、隣接のスキー場の動向を精査するなどし、県の補助が重要であることから、県にも働きかけ、政策を策定してからの審議と考える。

得者支援が計上され、人材養成に取り組んでいる。

道路整備においては、町村合併前から安代地区住民の念願であった、国道282号の安代バイパスの代替道路である市道鴨志田線整備に係る実施設計費と用地取得費が計上されている。

今回の予算案で特筆すべきことは、地方債のプライマリーバランスが黒字で、人口減少が進む中、堅実な財政運営であり、市民の負託に応えるものと評価する。

適正化」を基本方針とする、市公共施設等管理計画に反していることである。田山スキー場では、7200万円での用地取得の方針でありながら、その投資に見合う需要増の根拠は提示されなかった。また、大更駅周辺整備事業の自由通路については、需要予測さえ存在していない。これらは、今後の財政運営にも係わる問題であり、明確に反対すべきものと判断する。



外国人指導助手による勉強風景

外国語指導助手配置事業

【予算額】 1,720万円

【事業内容】 外国語指導助手を4名採用し、児童生徒の英語教育の推進を図るとともに、異文化交流につなげる。



田山スキー場

田山スキー場運営事業

【予算額】 1億5万円

【事業内容】 スキー場用地購入(7,217万円)を含むスキー場整備などにより、安全で円滑な運営を図る。



防災行政無線

防災行政無線整備事業

【予算額】 5億3,796万円

【事業内容】 防災行政無線のデジタル化整備工事と、屋外拡声子局施設の維持管理を行う。



市営町裏住宅

市営住宅整備（建て替え整備、解体）事業

【予算額】 1億5,919万円

【事業内容】 耐用年限を経過する市営住宅を計画的に建て替える。（整備対象 建設54戸、解体90戸）



整備が進む大更駅前線

都市計画道路大更駅前線整備事業

【予算額】 3億3,410万円

【事業内容】 街づくりプランの作成や土地区画整理などを行い、大更駅前線沿いに商店を集積し地域を活性化させる。



展望台貯湯槽

八幡平温泉郷引湯管など整備事業

【予算額】 1億4,354万円

【事業内容】 引湯管2ルート进行修改し、給湯利用施設に十分な温度で安定的な送湯を確保する。

3月定例会

●会期 2月22日～3月22日(29日間)

出産祝金第2子以降支給 西根病院へ9000万円繰入

今回は
市長提出議案 33件
報告 1件



3月定例会議案採決

【議案第6号】 八幡平市空家等対策条例
空家などの適正な
管理を図る

空家および特定空家などを定義し、それらを適正に管理することで、市民の生命、身体および財産の保護ならびに良好な生活環境の保全を図ろうとするものです。

【議案第8号】 八幡平市出産祝金支給条例の一部を改正する条例

第2子以降から出
産祝金5万円支給

子育て支援の拡充のため、出産祝金の支給要件を緩和および拡大しようとするものです。

【議案第12号】 八幡平市長寿祝金条例を廃止する条例
長寿祝金廃止条例
議会で活発な論議

100歳を迎えた方に10万円を贈っていた八幡平市長寿祝金条例を、4月から廃止しようとするものです。

4月から廃止するのは、あまりにも急過ぎる提案で、市民への周知期間が必要である。
一旦、条例は廃止させてもらい、その後の対応は検討していきたい。

長寿祝金廃止する
条例案が撤回に

本会議での質疑や、委員会での審議を踏まえ、時期が唐突であるなどのことから、長寿祝金条例の廃止案の撤回が、当局から提案され、採決の結果、承認されて、改めて検討していくことになりました。

6億735万円
減額の補正予算

【議案第13号】 平成28年度八幡平市一般会計補正予算(第10号)

歳入、歳出それぞれ6億735万円を減額するもので、主な歳出は次のとおりです。

▼地域DMO(観光地域づくり推進法人) 構築調査事業委託料 2804万円

▼北森駅等利用者カウントシステム設置工事請負費 504千円(減額)

▼大更駅周辺環境整備事業 2082万円(減額)

▼地熱開発理解促進関連事業支援補助金 1億3000万円(減額)

Q 地域DMO構築調査事業委託料の内容は。

A 人材、組織、資金源をどう構築していけば良いのか、その調査事業を委託するものである。

Q 市役所に併設した駅は珍しいが、カウントシステムで測定した駅利用者数は。

A 北森駅ホーム出入口付近に設置し、1日平均で約35人となっている。
Q 大更駅周辺環境整備事業などについて、関係する市民に説明すべきでは。
A 住民や、商工業者の方を中心に説明していきたい。

西根病院へ繰入れ
9000万円補正

【議案第17号】 平成28年度八幡平市国民健康保険西根病院事業会計補正予算(第5号)

Q 患者数が減る原因を把握しているのか。また、どう改善していくのか。
A 医師不足で、入院患者数が減少しているが、外来は前年並みである。今は、医師確保に向けて努力している。

Q 病院の職場内の雰囲気が悪いと聞か。
A 病院内部で指導し、改善していきたい。

平成29年第1回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議案名	議員名																					議決結果
	1 工藤隆一	2 田村善男	3 畠山康	4 井上辰男	5 立花安文	6 大森力男	7 工藤剛	8 工藤直道	9 遠藤公雄	10 小野寺昭一	11 田村孝	12 山本榮	13 高橋守	14 伊藤一彦	15 高橋悦郎	16 関善次郎	17 大和田順一	18 高橋光幸	19 米田定男	20 北口和男	21 渡辺義光	
議案第12号 八幡平市長寿祝金条例を廃止する条例の撤回の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	●	●	○	○	撤回
議案第17号 平成28年度八幡平市国民健康保険西根病院事業会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第22号 平成29年度八幡平市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	原案可決

※賛成=○、反対=● 古川津好議長は採決に加わりません

問 第2次総合計画が策定され、今後10年間の各施策方針が示された。人口減が著しく続く中、少子高齢化社会への対応、雇用の確保、定住化対策など、施策は十分であったか、疑問が感じられる。第1次総合計画の事業評価を、どう検証し、



(市民クラブ)

くどう なおみち
工藤直道 議員

認識して、第2次総合計画に反映したのか伺う。
市長 第1次総合計画後期基本計画における重点施策に、定住化促進対策を掲げ、定住セミナーへの出席を実施した。また、行政評価としては、49の施策について、成果指標に対する実績を整

理した施策マネジメントシートを作成し、総合計画審議会の議論の場において、参考として活用した。
問 28年第3回定例会において、総務省の分散型エネルギー利用促進を掲げたが、29年度の施政方針演説には、同施策が掲げられていない

ことから、方針転換したのか伺う。
市長 25年度から27年度までの3年間、ソフト事業を展開し、検討してきた。しかし、ハード事業においては、総務省に補助メニューがないので、環境省や経済産業省と、補助事業に係る

第2次総合計画への反映 49施策の成果指標を参考



解体前の大更駅舎

協議を進め、国の支援を確認したうえで、引湯管の整備を進めたいと考えている。
問 大更駅前線沿道整備事業の進捗状況を伺う。
市長 大更駅西口駅前広場整備事業との調整を図り、おおむね平成32年度の事業完了を目指したい。

問 市内の私立保育園の運営は素晴らしいものであるが、それでも市立保育園の民営化に伴う過度の一法人への集中は望ましくないと

思うが、考えを伺う。
市長 多様な特色を持った保育サービスの実現を考え、公募条件のさらなる見直しについて、検討していく必要があると考える。
未舗装道路の解消
今年は概ね10の路線

ね10路線を整備したい。
問 ゴルフ場利用税について、市から免税、減税を働きかける手段はないか伺う。
市長 市から免税、減税を働きかける考えはない。
学習旅行の補助金
検討が必要である

問 市内の子どもたちに対する、学習旅行の補助金制度の設置を考へてはどうか伺う。
教育長 支援の在り方の検討が必要であると認識している。
問 子育て支援の観点から、働く母親のために、歯科健

診の自由度(場所、時間など)を広める考えはないか伺う。
健康福祉課長 検討したいと考えている。



(八起会)

たかはし まもる
高橋 守 議員

保育園運営の一法人集中 公募条件の見直し必要



市立松野保育所

14人が市政を問う

高橋 守 議員 (八起会)08

- ・公営保育所の民営化について
- ・未舗装の生活道路について
- ・ゴルフ場利用税について
- ・学習旅行に対する補助金について
- ・乳幼児の歯科健診と虫歯予防について

工藤 直道 議員 (市民クラブ)09

- ・市長の政治姿勢について
- ・社会保障施策について
- ・農業振興施策について
- ・防災、減災対策について

高橋 光幸 議員 (緑松会)10

- ・多面的機能支払交付金、資源向上支払交付金について
- ・農の大地担い手育成支援事業について
- ・老人憩いの家の入浴料について
- ・外国人観光宿泊客への対応について

山本 榮 議員 (日本共産党)10

- ・人口減少の歯止め対策について

関 善次郎 議員 (自由クラブ)11

- ・人口減少と限界集落について
- ・スポーツ選手の育成と波及効果について
- ・教育施設の安全対策について

大和田順一 議員 (新政クラブ)12

- ・財政運営の見通しと取り組みについて
- ・人口減少対策の取り組みについて
- ・観光振興策について
- ・農業政策について
- ・子育て支援策について

大森 力男 議員 (市民クラブ)12

- ・人口流出の防止対策について
- ・地産地消の推進について
- ・荒屋新町駅前の開発促進について

田村 善男 議員 (八起会)13

- ・農業振興について
- ・産業廃棄物最終処分場整備について
- ・平舘コミュニティセンター整備について
- ・小中学生の学力・体力について

立花 安文 議員 (八起会)14

- ・移住・定住の促進について
- ・小規模企業振興について
- ・観光振興について

田村 孝 議員 (新政クラブ)14

- ・ふるさと納税について
- ・トラウトガーデンについて
- ・生活保護扶助費について

米田 定男 議員 (日本共産党)15

- ・災害時の緊急避難場所について
- ・燃やすごみの大幅減量の取り組みについて

高橋 悦郎 議員 (日本共産党)16

- ・学校給食費への助成について
- ・就学援助制度について
- ・田山スキー場用地取得について

北口 和男 議員 (無会派)16

- ・農と輝の産業振興について

工藤 剛 議員 (市民クラブ)17

- ・婦人消防協力隊について
- ・子育て支援事業について
- ・地産地消の推進について



(緑松会)
たかはし みつゆき
高橋光幸 議員

松尾地区の入浴券の改善 条例を整備して進めたい



なかがやま荘

問 松尾地区の入浴券の配付については、年間60枚でスタートしたが、現在24枚になっており、市民は納得していないが、考えは。

健康福祉課長 27年度の利用率は20枚まで28%、40枚まで6・8%、60枚まで3・3%であった。利用率

を勘案して、28年度は24枚にした。

問 温泉地に住みながら、市の対応は、公平性に欠ける。条例改正をして、市民の負担に充ててほしい。

市長 条例改正は、簡単ではないので時間がかかる。

問 それでは、今年度から

60枚に戻してほしい。

副市長 今年度は24枚で継続し、条例整備をして30年度からスタートできるようにしていきたい。

問 市内に、通訳案内士は在住しているのか。また、市外からの出向はあるのか。

市長 八幡平市内在住者で、登録者はいない。必要に応

じて派遣をお願いするが、市内在住者、市内出身者の資格取得者が望ましい。

問 通訳の育成支援をして、語学のおもてなし観光地として、海外発信してはどうか。

市長 市内在住者の人材育成を進めたい。



(日本共産党)
やまもと さかえ
山本 榮 議員

人口減少の歯止め対策 総合戦略を実施していく



住宅地として要望ある田山中跡地

問 八幡平市の人口は、合併時より5087人、16%減少し、その中で、安代地区は、1526人減、減少率24・9%で著しい。歯止めをかける取り組みが急務である。まちづくりは、全ての地域で、人口減少に歯止めとなる計画が必要と思

う。人口を増やすための事業を伺う。

地域での定住促進には、安定した収入が得られる仕事づくり、雇用対策が大事である。地元特産品のりんどう、ほうれんそうの生産拡大の支援策を伺う。

市外への人口流出を抑制

し、市外からの移住で定住促進を図るために、市有地を住宅地に整備し、格安で提供する。安い家賃で、入居できる定住促進住宅を建設する。子育て支援住宅を建設し、家賃を子育て人数によつて軽減する。保育所入所の充実、待機児童をゼ

ロにするなどの取り組みが必要と思うがどうか。

市長 国全体が人口減少していく中で、市としては人口減少のスピードを鈍化させ、住民が住み続けられるまちづくりを進める。地域の特色を生かし、その地域に合った政策展開をしてい

く。地元特産品には、新規就農支援事業などにより支援する。定住促進には、公共施設等総合管理計画に基づき検討する。子育て支援住宅建設は、空き家を活用した安価な住宅供給などで検討したい。待機児童は、受け入れ拡大に努める。



(自由クラブ)
せき ぜんじろう
関善次郎 議員

競技開催で波及効果

競技関係機関と連携



案内ボランティア活動

問 人口減少に歯止めがからない。八幡平市が発展するためには、国内外から訪問者や観光客を呼び寄せることが最も大事な課題である。今後は、スポーツ選手育成に、積極的に取り組むとともに、スポーツ競技やイベント開催は、市民

の重荷にならないように改善し、多くの競技を行い、訪問者や観光客を呼び、地産品の消費拡大、宿泊客の増員、商店のにぎわいなど、市内の波及効果を、より以上伸ばす取り組みは。

市長 今まで多くのボランティアの皆さんに大会を支

えてもらってきたが、競技役員の確保が難しい状況であり、今後はボランティアの養成や登録制度の検討を行っていききたい。競技運営などのノウハウを今後も活用し、東北、全国規模の大会など、継続的に開催されるよう、競技関係機関と連

携していく。

教育環境の状況は

問 市内のいじめの状況を伺う。

教育長 28年11月現在113件で、法で定める重大事態に当たるいじめはない。

問 いじめの子、いじめら

れる子、どちらも初めは仲が悪くはないはずだが、双方が仲直りして共に友達となつて、協力し合えるようになるための解決策は。

教育長 各校に生徒支援員を配置し、生徒に目を配り、学習面、生活面の向上で安定が図られる。

問 牛白血病が発症すると、食肉とはできず、1頭全て廃棄処分となり、経営に大きな損失を与える。検査を徹底し、感染牛の現状を把握すること、感染牛に対する指導が必要では。

市長 市営上坊および長久保牧野へ放牧する牛に対し



たむら よしお
田村善男 議員
(八起会)

では、全頭に牛白血病検査を行い、分離放牧を実施している。牧野放牧を行っていない農家は、有料での検査となるので、検査が行われていないのが実情である。

平館コミセン
整備予定は

問 平館コミセンの整備は、産業廃棄物最終処分場の受け入れに伴い、地域振興要望として、県の交付金を活用し、改築することだが、整備の予定を伺う。

市長 産業廃棄物最終処分場の関連事業として実施することとしており、今後は、

地域住民との懇談を重ね、32年度と33年度の2力年で工事を行う予定としている。

問 県の学習定着状況の内容が公表され、市内の定着状況と、その結果に対し、どう取り組むのか伺う。

小中学力に課題

牛白血病対策の現状 上坊と長久保牧野は検査



外部との接触を避ける牛舎

教育長 市の全体的な傾向として、小中学校ともに、定着に課題があると捉えている。来年度の学習定着状況調査の本市の目標達成指標を、平均正答率を県より上回ることとして、学びの環境整備を推進していく。

問 地域活性化のため、これまでの事業をベースに、「八幡平ブランド」の形成と販売を促進する組織が求められ、それを担う人材育成も必要であるが対応は。

市長 策定作業中の市観光振興計画では、市版DMO（観光地域づくり推進法

人）の早期設立を掲げている。市版DMOに、調査や宣伝、企画、販売などの機能を継承、集約することでブランドを形成し、人材育成にも努めていきたい。

問 医師確保対策の推進は。

市長 医師養成事業を進めてきたが、確保できない厳

しい状況にある。制度を見直し、入学一時金貸付900万円の新生、月額貸付金を30万円に引き上げ、募集している。

問 八幡平型地産地消

市長 地産地消の推進策は、市内の9産直施設で

産直連携協議会を組織し、各種事業を展開している。また、盛岡広域の食・農部会で、物産品を売り込んでいる。

問 荒屋新町駅前開発

問 安代地区は、人口減少が著しく、高齢化率も50%

に迫り、持続可能なまちづくりに向けての取り組みが必要と考えるが。

市長 荒屋新町駅周辺は、古くから鉄道で栄えたまちである。駅前のまちづくりは、地域住民、振興協議会などで構想し、要望に即した事業検討が必要である。



おおもり りきお
大森力男 議員
(市民クラブ)

八幡平ブランドの確立 観光地域法人設立で対応



八幡平ブランド推進の店漆器工房

問 合併算定終了後の普通地方交付税の縮減額の推移について伺う。

市長 平成33年度の予想推移額は、平成27年度を基準とした場合、10億円が仮定の縮減額になる。

問 今後、市財政の健全化、持続可能な財政維持のため、

「あれもこれも」から「あれかこれか」の選択による計画と財政など、市民と共有した推進が必要と思うが。

市長 市民へ情報開示と共有は重要で、限られた財源の中で事業展開することから、各計画の推進は、優先度や緊急度を選択し、実施

したいと考えている。

人材不足解消に
市外への発信は

問 業種による、人材不足の改善と、市外への募集などの発信の取り組みは。

市長 各分野の人材不足は、本市の課題であり、県

や、ふるさと回帰支援センター主催のイベントへの参加するなど、効果的な情報発信に努め、起業家支援センターの開所や、お試し移住などに取り組んで、仕事の確保などを含め、受け入れ態勢を整えることが重要と考えている。

タイ訪問とインバ
ウンドの取り組み

問 タイ王国の訪問と、国立公園満喫プロジェクトの指定による取り組みを伺う。

市長 インバウンドに積極的に取り組む自治体に、東北全体で取り組みたい。



(新政クラブ)
おおわだ じゅんいち
大和田順一 議員

財政見通しと取り組み 効率的、効果的事業推進



財政を考慮した計画推進を



たちばなやすふみ
立花安文 議員
(八起会)

廃止する施設の土地売却

売却可能候補地を抽出



遊休資産の保土沢教員住宅

問 廃止する施設跡地で、住宅用地に活用できる土地を、定住人口確保のため、売却できないか。

市長 施設廃止後に、売却可能資産候補地を抽出してから検討する。

問 保土沢教員住宅地は、立地条件が良く、移住、定

住を促すために売却できないか。

総務課長 使わない財産は、民間に譲って有効活用してもらいたい思いはある。

問 小規模企業の振興条例の制定

条例制定の考えを伺う。

市長 大型店の影響、人口減少、人手不足などで、厳しい状況と認識をしている。国は、市町村に条例制定を義務づけてはいない。市単独で、都市圏販路開拓支援事業を、平成29年度から始める。

問 八幡平展望駐車場の料金

問 国の小規模事業者持続化補助金の活用状況を伺う。

市長 申請は延べ75件、うち、採択が46件で、申請中が10件ほどである。

市長 駐車場は、自然公園財団が管理しており、市はこれまでも、財団に一部無料化を申し入れてきた。大型バスの駐車料金は、市観光協会が助成を行っている。



たむら たかし
田村 孝 議員
(新政クラブ)

ふるさと納税の推進

平成29年9月から運用



市の一部特産品は酒、肉、アイス

問 ふるさと納税について、平成29年度予算に、ふるさと応援寄附金推進事業が予算計上され、実施されるようだが、その内容を伺う。

市長 市では、ふるさと納税の返礼品の実施に向け、検討を重ねてきて、平成29年9月からの運用を予定し、

ふるさと応援寄附金推進事業を推進するための予算を計上している。

問 パンフレットの内容について伺う。

市長 ふるさと納税を通じて、本市のファンを獲得し、継続的に本市にかかわりを持つってもらうことも目的の一つである。返礼品を送付する際には、新しいパンフレットを同封し、再度の寄附を促し、リピーターとなってもらえるような工夫を考えている。

問 職員体制をどうするか。また、返礼品の内容と委託方法、取り扱いについて伺う。

市長 ふるさと応援寄附金推進事業については、民間に委託する考えである。担当職員については、1人での対応を考えている。返礼品の内容については、関係団体、事業者、あるいは生産者への説明会を実施し、

取り扱う返礼品を選定していく。返礼品は、事務代行事業者が集荷、こん包、発送を担当し、その作業は、障害者や高齢者を中心に、市内での就労機会を創出するほか、ふるさと納税制度を通じて、市内の経済循環を生む取り組みにしたい。



まい た さ だ お
米田定男 議員
(日本共産党)

緊急避難場所の同意

瑕疵があったのは事実



避難場所 向村ふれあいセンター

問 災害時の緊急避難場所の問題について伺う。

質問の理由は、昨年11月に防災マップが配布された時期であること、大震災における釜石市鶴住居地区防災センターの悲惨な事故の教訓を、しっかり受け止めることが責務と判断する

からである。

避難場所設置についての法的根拠は、災害対策基本法であり、さらに、同法では、民間施設については、管理者の同意が必要と規定している。法に沿って同意を得ているか確認する。

市長 防災安全課長が答弁

したとおり、瑕疵があった。問 法に反する事務執行があったという事実は、重大な問題である。しかし、そのこと自体を明らかにするのが質問の趣旨ではない。同意を得るという行為は、一方で自治会などにおいて、この避難場所について、自

らの地域の避難場所としての位置付けがされ、緊急事態への対応や、施設の維持管理などについて、明確になっっていくことにつながるからである。

副市長 平成13年頃の岩手山の火山性微動発生時の対応の際には、施設の鍵は誰



たかはし えつろう
高橋悦郎 議員
(日本共産党)

給食費助成が急速に増加

助成自治体の増加は承知



安代地区学校給食センター

問 学校給食費を助成する自治体が急速に増えている。助成しているのは417自治体で、全自治体の24%になる。人口減少や貧困対策で、助成する考えはないか。教育長 助成自治体が増えているのは承知している。助成実施には、他の施策と

の整合性を図る必要がある。田山スキー場用地取得は適切か 問 スキー場で地域の活性化には大賛成である。今回の田山スキー場用地取得は、現在のスキー場の2倍の面積を、約7200万円とい

う高額な提案である。計画にない唐突な提案ではなく、市の総合計画に載せて、その具体的な利用計画を示してから提案するべきだ。安代総合支所長 市総合計画に載っていないが、国際大会を開催できるバイアスロンコースを作りたい。

問 「賃貸している土地を分筆しないで、購入するので倍近い面積になった」との説明があった。使用できない土地まで買い取ることが、行政的に適切な判断なのか。また、これまで田山スキー場地権者に支払ってきた賃料の合計額はいくらか。

市長 毎年、スキー場用地賃借契約を行ってきたが、相続の関係での複雑な調査など、苦勞して契約を行ってきた。この無駄を省くため取得したい。田山スキー場は、これまで53年間賃借し、その支払い総額は、約5300万円となっている。



きたぐち かずお
北口和男 議員
(無会派)

八幡平市版畜産振興計画

28年度中に作成する



八幡平地域畜産振興に向けた提言

問 市議会畜産振興議員連盟主催の畜産講演会で、講師の岩手県盛岡広域振興局農政部長から当市に対し、担い手の確保・育成、育成牛の増頭と規模拡大など、4項目の提言が出され、八幡平市版の畜産振興計画書作成が必要であると指導を

受けたが、いつまでに作成するのか。市長 岩手県から指導をもらい、八幡平市酪農・肉用牛近代化計画書を、早急に作成するよう進めている。関係機関および関係団体へ、計画内容を説明し、意見をもらい、平成28年度中

に計画書を作成する。林業所得向上が地域を守るか 問 林業振興については、近年、市内各地域で伐採が多く実施されている。国有林、市有林は再造林を行っているが、民有林、地域、

集落の部分林は再造林しない方が多いと聞く。再造林を推進して山を守り、林業所得を向上させて、地域を守るためにも、林業就業者の確保、育成を図るべきと思うが。市長 人工林が利用期を迎えている。近年、合板や木

質バイオマス発電施設などへの素材の安定供給や、資源の循環利用に向けた再造林など、林業に対する期待が高まっている。市では、新たに林業新規就労者の支援対策事業に取り組む。



くどう つよし
工藤 剛 議員
(市民クラブ)

婦人消防協力隊の待遇

地域防災には必要な団体



消防演習時の婦人消防協力隊

問 婦人消防協力隊は、火災時ばかりではなく、自然災害への対応にも協力してもらっており、地域にはなくてはならない団体である。しかし、市の待遇には疑問があり、市としてどう考えているのか伺う。市長 婦人消防協力隊は、

目的は消防団と同じだが、法的な設置根拠などが異なり、消防団員と同様の扱いは難しい。しかし、婦人消防協力隊は地域防災には欠かせない団体であると認識している。問 婦人消防協力隊には、出動手当などは出せない

しても、長年勤めてくれた方には、市として功労表彰や感謝状などを贈るべきだと思う。副市長 その通りだと思うので、条例改正も含めて検討する。問 消防団員に制服や防火服を支給しているように、

婦人消防協力隊員にも、消防演習の時に、はんてんの中に着る白いTシャツなどを支給してはどうか。防災安全課長 婦人消防協力隊の幹部と協議する。子育て支援対策 問 市PTA連絡協議会の

補助金を半減した理由は。市長 繰越金が補助金額を上回ったため、恒常的な減額ではない。問 子育て世代が、何を望んでいるか把握することが大事だと思う。地域福祉課長 調査のやり方も工夫して、検討したい。

情報共有を目的に報告会を実施

当市議会では、会派などが行った、政務活動費を活用した行政視察や、常任委員会が行った行政視察について、議員間の情報共有を目的として、報告会を行っています。これは、議会基本条例で義務づけられており、昨年度から実施されているものです。

今回は、3月定例会最終日に、八起会、緑松会、市民クラブなどの会派が行った行政視察について報告がなされました。



全議員で行政視察の情報を共有しました

次は 6 月定例会 (予定)

期 日	内 容
6月12日(月)	議案上程 ほか
6月13日(火) ～ 6月15日(木)	一般質問
6月16日(金)	休会(常任委員会)
6月17日(土) ～ 6月19日(月)	休会
6月20日(火)	議案審議
6月21日(水)	休会
6月22日(木)	委員長報告 ほか

※午前10時開会(変更の場合があります)

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する人は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください(受付で住所や氏名を記入する必要はありません)。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、インターネット(YouTubeの八幡平市議会のチャンネル)で録画配信しています。

クイズ

問 ○の中には、どんな文字(数字)が入るでしょう？

**八幡平市の会計の数
一般会計、特別会計、
企業会計を合わせて
全部で○会計**

- 応募方法 答え、住所、氏名(ふりがな)、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールで応募ください。正解者の中から抽選で10人に八幡平市共通商品券500円分をお贈りします(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます)。
※お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。
- あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係
FAX: 0195-74-2105 E-mail: gikai@city.hachimantai.lg.jp
- しめ切り 平成29年6月5日(月)(当日消印有効)
- 前回(No.46)の正解 60(人)
応募者 26人 正解者 24人

議会の動き

(2月20日～4月25日)

- 2月
 - ▶20日 議員全員協議会、平成29年盛岡北部行政事務組合議会第1回定例会
 - ▶21日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会並びに平成29年2月岩手県後期高齢者医療広域連合組合議会定例会、平成29年2月盛岡地区広域消防組合議会定例会
 - ▶22日 平成29年第1回定例会(～3月22日)、議会広聴広報常任委員会
- 3月
 - ▶2日 教育民生常任委員会、総務常任委員会
 - ▶8日 議員全員協議会、議会運営委員会、総務常任委員会協議会
 - ▶9日 議会広聴広報常任委員会
 - ▶10日 予算特別委員会
 - ▶13日 予算特別委員会
 - ▶14日 会派代表者会議、予算特別委員会、総務常任委員会協議会
 - ▶16日 予算特別委員会
 - ▶17日 予算特別委員会、平成29年第1回八幡平市議会改革推進会議、議会運営委員会
 - ▶22日 第5回議会議員定数等調査特別委員会、会派視察研修報告会
 - ▶26日 古川津好(緑松会)会派研修
 - ▶28日 平成29年第2回八幡平市議会改革推進会議
 - ▶30日 議会広聴広報常任委員会
 - ▶31日 会派代表者会議
- 4月
 - ▶4日 議会運営委員会
 - ▶10日 議会広聴広報常任委員会
 - ▶20日 議会広聴広報常任委員会
 - ▶25日 議会広聴広報常任委員会、議会運営委員会

第1回臨時会

市生活支援ハウス条例 一部改正を可決

会期
1月23日
(1日間)

〔議案第1号〕 八幡平市生活支援ハウス条例の一部を改正する条例

指定管理者に納入

生活支援ハウスの業務全般に係る利用許可を、指定管理者が行うよう改めることに加え、利用者がこれまで市長に納入していた居住部門事業利用料を指定管理者に納入し、指定管理料の収入として収受するよう改めるものです。

〔議案第2号〕 平成28年度八幡平市一般会計補正予算(第9号)

債務負担行為補正

農業近代化資産利子補給について、借入金額の上限7000万円を、1億8000万円に変更しようとするものです。
市民研修交流事業補助金は、神戸市で開催される和太鼓の大会に出場する生徒・児童の旅費、楽器輸送費の一部を支援しようとするものです。

八幡平市議会活動レポート

議会改革講演会

市の幹部職員も講演会に参加

2月2日に、市議会改革推進会議主催の講演会を開催しました。元千葉県我孫子市長、元消費者庁長官で、中央学院大学教授の福嶋浩彦氏を講師に迎え、「議会に問われる議員討議と住民参加」を演題に、市の幹部職員も参加し、活発な質疑が行われました。



議員討議と住民参加の必要性を学びました

議会のまど

夢を持って働けるよ
う生産物PRが必要きむらひでと
木村秀人 さん
(刈屋)

「八幡平の農産物は、何が、どこで食べられるの。」と聞かれたことがあります。地元には、こんなにおいしい農産物があり、すてきな景色もあるのに、まだまだ知られてなく、もったいないと感じます。私も酪農をやっていて、八幡平の牛乳をもっとアピールしたいと日々考えています。市政には、農業生産者がプライドと意欲、夢を持って働けるように、生産物のPRをもっと広く展開してほしいです。農業全体が、活性化するような6次産業も含めた、費用助成などを充実してほしいです。

小

学校・中学校・高校に議員が行って、若い人たちの意見、要望を聞けばいいと思う。(大更・60歳男性)

議

員との懇談会に参加して、いろんな意見を率直に出していく市民の心構えと、自分たちの郷土を守る気持ちを持つていきたい。(松尾・67歳女性)

私

は雑巾を縫って、老人ホームなどに届けています。今は、白布を買い縫っています。(吹田・74歳女性)

大

きなホール付き建物が、欲しくありませんか。市役所駐車場を大きくしてほしいです。(野駄・71歳女性)



クイズで寄せられた意見などを紹介します。

議

員と語る会の出席者が少なく、びくりました。今後は、議会傍聴も含め参加したい。(西根寺田・73歳男性)

市

民の皆さんの要望・提言、市の回答も、大変良かったです。(大更・87歳男性)

医

師確保のため、学生への貸付金を増額し、市内の病院に最長9年間勤務すると、償還免除と決定したようです。私も、賛同します。(柏台・40歳女性)

普

段はあまり見ませんが、今回から目を通して、自分の市を知ろうと思います。(野駄・37歳男性)

学校紹介



西根第一中学校

生徒会長

よしだ たかし
吉田 望 さん

西

根第一中学校は、校訓「文武両道」のもと、今年度は全校生徒102名で生徒会活動をスタートしました。「創造・挑戦」を生徒会スローガンに掲げ、「応援」「合唱」「ボランティア」を活動の三本柱にしています。一人一人の創造力とチャレンジ精神を大切にし、全校生徒が団結して、生徒会活動を発展させていきます。

平成29年度 議会事務局の体制

事務局長	中 軽 米 昭 彦
事務局長補佐	遠 藤 竹 弥
議事係長	佐 々 木 由 理 香
主任	佐 々 木 久 禎
主任【再任用】	工 藤 義 昭